

デザインは 人々にどんな 力を与えるか

無人航空機とデザイン

身近になりつつある 無人航空機

近年急速に広がりを見せている、無人航空機（UAV・ドローン）の利用。主に人が搭乗しない航空機を指します。パイロットの無線操縦によって飛行する物から、自律飛行可能な物まで様々です。国内では、山火事などの災害監視や物資の配達が困難な地域での活用等の研究が進められています。



荷物を積載して飛行する Amazon 社の無人航空機 (Amazon Prime Air)

商用利用の研究も本格化しており、米 Amazon 社が昨年未だに自律飛行の無人航空機を用いて注文から30分以内に商品を配達するという配達サービスを検

証して話題になりました。法的な壁等の課題はありますが、国内での4〜5年以内での実用化を目指しているとのこと。ネットで注文した本を無人航空機が届けに来る…そんな未来もすぐそこかもしれません。

身を守るガイドマップ

一方で、無人航空機には軍用機としての一面もあります。紛争地域等で実際に運用される軍用無人機は、多くの戦果と誤爆事故を起こしています。この現状に対し、グラフィックデザインで問題提起するプロジェクトがあります。

『Drone Survival Guide』と題された、無人航空機の赤外線センサーをかく乱するためにアルミコート紙へ印刷され、光沢を放つ印刷物。このガイドブックには、その名が示すとおり、無人機から身を守るための様々な方法が記載されています。表面には、主に紛争地域を飛行している無人航空機のイラスト、導入している国家、攻撃機が否かを識別する情報などがインフォグラフィックとしてデザインされており、裏面には無人航空機から身を守る方法や対処法について英語とパシトゥー語（アフガニスタンの公用語）の2ヶ国語で記述されています。



Drone Survival Guide (表面)
<http://dronesurvivalguide.org>

このプロジェクトは、オランダで活動するグラフィックデザイナー、Ruben Pattey氏個人によるもの。ガイドブックは無料でダウンロード可能なほか、印刷物はWebサイト上で販売されています。また、有志による翻訳も募っており、現時点で26語のバージョンがダウンロード可能になっています。

デザインの力とは

このように、デザイナーが社会問題に対して問題提起し、作品を発表することは決して珍しくはありませんが、紛争地域の人々が身を守る手段としての実用的なコンセプトとデザインが、幅広い環境でアクセス可能な情報として提供されることに私は新鮮さと魅力を感じました。

デザインの力と役割を改めて考えさせられるプロジェクトです。

（企画制作部 笹垣千晶）

行政・中小企業向け

文化メディアワークス

自社スタッフが
講師です！

現場のプロを派遣！ 029(221)4813

ビジネスセミナー・研修・講座

「デザイン × 教育」
二つのスキルで
お客さまのお役に立ちます。

●デザイン 企画立案からデザインまでワンストップでプロデュース！

企業のブランディングから、商品開発、農産物直売所POPや売場レイアウト、ツール制作など少人数から受け付けています。
(茨城県・栃木県・各種団体等の実績あり)

●教育 各種プロスタッフやキャリアコンサルタントが丁寧に指導！

ビジネスマナーや接客接遇、PCスキル(Microsoft Office、デザイン系ソフト)社内広報、その他ビジネススキル、PCリテラシーまで幅広くお応えします。